

火災ゼロ！防火ポスターに願いを込めて

～第16回防火ポスター展の入賞者～

防火ポスター展を開催したところ、市内の小・中学校から328点の応募があり、その中から下記のとおり優秀作品9点が入賞しました。

ポスター展は、小・中学生が図画や美術の学習を通じて防火ポスターを描くことで、防火意識を高めるとともに、入賞作品を展示することにより、市民の皆様へ火災予防への関心を持っていただくことを目的として行っています。

※展示場所

イトーヨーカ堂四街道店 1階（11月9日～11月15日）

南部総合福祉センターわろうべの里 1階（11月16日～11月24日）



市長賞 南小学校5年 佐藤繻さん



市消防長賞 西中学校2年 加村真柳さん



市議会議長賞 山梨小学校6年 飯沼柚葉さん



市教育長賞 北中学校1年 高橋侑己さん



市消防団長賞 中央小学校2年 高澤舞さん



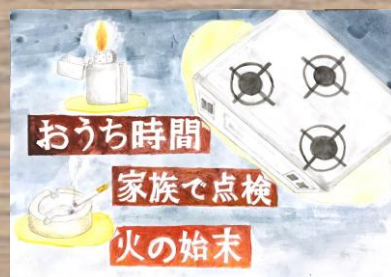
市校長会賞 中央小学校1年 山崎りあなさん



県消防設備協会賞 和良比小学校4年 湯浅穂南さん



市危険物安全協会賞 四和小学校3年 阿部優月さん



県危険物安全協会連合会賞 西中学校3年 金子由依さん

住宅用火災警報器の設置状況調査にご協力ください

市消防本部では、住宅用火災警報器の設置状況を把握し、より効果的な普及啓発・維持管理広報を行うために設置状況調査を行います。

調査期間

11月 9日（火）～15日（月）（秋の火災予防運動実施期間）
令和4年 3月 1日（火）～ 7日（月）（春の火災予防運動実施期間）

調査対象

秋、春それぞれ100世帯を無作為抽出します

調査方法

消防職員が直接訪問し、聞き取り調査します

（訪問の際には消防手帳を提示します）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により延期または中止する可能性があります

住宅用火災警報器のお手入れの3つのポイント

- ① 乾電池タイプは交換を忘れずに
定期的な作動点検のときに早めの交換をおすすめします。電池が切れそうになったら、音やランプで交換時期を知らせてくれます。
- ② おおむね10年を目安に機器交換をしましょう
機器交換は、機器に交換時期を明記したシールが貼ってあるか、音などで交換時期を知らせてくれます。
- ③ 定期的に作動するか点検しましょう
住宅用火災警報器が鳴るかどうか、定期的に点検してみましょう。点検方法は、本体の引きひもを引くものや、ボタンを押して点検できるものなど機種によって異なります。

※消防職員が住宅用火災警報器や消火器を販売することはありません

地震による電気火災対策を

東日本大震災における火災原因の過半数が電気火災でした。地震による電気機器からの出火や、停電の復旧時に発生する火災を防ぐには、感震ブレーカーが効果的です。感震ブレーカーは、揺れを感知すると自動的にブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。さまざまな種類があり、それぞれの特徴を踏まえて適切に設置しましょう。

- 分電盤タイプ・・・約2～8万円程度
内蔵型、後付型があり、センサーが揺れを感知してブレーカーを切って電気を遮断します。
- コンセントタイプ・・・約5千円～2万円程度
コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。
- 簡易タイプ・・・約2～4千円程度（ホームセンター等で購入できます）
ばねの作動や重りの落下などにより、ブレーカーを切って電気を遮断します。

